

薬 理 学 講 座
(Department of Pharmacology)

1) 印刷公表

1. Ohtani M, Oka T*, Ohura K. Possible involvement of A_{2A} and A₃ receptors in modulation of insulin secretion and β -cell survival in mouse pancreatic islets. *Gen. Comp. Endocrinol.* 2013 ; 187 : 86–94.
2. Nozaki T, Fujimori H*², Wang J*², Suzuki H*³, Imai H*⁴, Watanabe M*⁵, Ohura K, Masutani M*². Parp-1 deficiency in ES cells promotes invasive and metastatic lesions accompanying induction of trophoblast giant cells during tumorigenesis in uterine environment. *Pathol. Int.* 2013 ; 63(8) : 408–414.
3. Sakai H*⁶, Edo K*⁶, Nakagawa H*⁶, Shinohara M, Nishiitsutsuji R, Ohura K. Isolation and partial characterization of a L-rhamnose-binding lectin from the globiferous pedicellariae of the toxopneustid sea urchin, *Toxopneustes pileolus*. *Int Aquat Res* 2013 ; 5 : 1–10.

2) 学会発表

1. 石塚智子. 胃におけるうま味物質受容によるヒスタミン神経系の活性の変化. 第22回神経行動薬理若手研究者の集い 2013. 3. 20 長崎市.
2. 益谷美都子*², 野崎中成, 荻野秀樹*², 藤森浩彰*², 藤原久子*², 大浦 清. 異所性骨形成誘導のモデルマウスを用いた解析. 第12回日本再生医療学会総会 2013. 3. 21 横浜市.
3. 大谷政博, 大浦 清. マウス臍島からのインスリン分泌におけるイベルメクチンの薬理効果. 第86回日本薬理学会年会 2013. 3. 23 福岡市.
4. 大谷政博, 大浦 清. アデノシンによる A_{2A} 受容体を介したマウス臍島からのインスリン分泌促進効果. 第90回日本生理学会大会 2013. 3. 29 東京.
5. 中川秀幸*⁶, 篠原光子, 西五辻理江, 大浦 清. ラップハウニの大型叉棘に由来する新規レクチンの精製. 第55回歯科基礎医学会学術大会・総会 2013. 9. 22 岡山市.
6. 大谷政博, 大浦 清. 臍島からのインスリン分泌におけるアデノシン受容体の役割. 第55回歯科基礎医学会学術大会・総会 2013. 9. 22 岡山市.
7. 野崎中成, 西五辻理江, 大浦 清. ヒト口腔がん細胞株の side population 細胞における遺伝子発現プロファイル. 第55回歯科基礎医学会学術大会・総会 2013. 9. 22 岡山市.

総説

1. 野崎中成, 大浦 清. 私の研究室から－再生医療の一翼を担う基礎研究. 日本歯科評論 2013 ; 73 (8) : 9-11.
2. 大浦 清. PFA 国際理事報告 (2012 年 10 月～2013 年 2 月) ピエールフォシヤールアカデミー日本部会報 2013 ; 48 : 27-29.

著書

1. 戸田雅裕. 共著. ストレス百科事典 精神医学的・臨床心理的・社会心理的・社会経済的影響. 東京 : 丸善出版 2013 : 20-24.

* 湧永製薬

*2 国立がん研究センター研究所治療開発グループゲノム安定性研究分野

*3 帯広畜産大学原虫病研究センターゲノム機能学分野

*4 三重大学医学部附属病院病理部

*5 横浜国立大学大学院工学研究院機能の創生部門

*6 徳島大学大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部創生科学研究部門